



Weekly Bulletin

静岡北ロータリークラブ

SHIZUOKA NORTH ROTARY CLUB



会長 鈴木 勉
副会長 津田 薫
幹事 山崎 俊昌
副幹事 森崎 和敏

2014-15年度 RI会長 ゲイリー C.K. ホアン / Light Up Rotary



例会日：毎週火曜日 12:30~13:30 例会場：ホテルアソシア静岡 TEL.054-254-4141
事務所：〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL.054-254-5611 FAX.054-221-0515
◆http://www.wbs.ne.jp/bt/nrc/ ◆E-mail: shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp

2014年9月2日 [火] 第1154回例会 天候：☀

司会進行 山崎 俊昌幹事

開会点鐘 鈴木 勉会長

ロータリーソング 吉田 空玄会員
「君が代」「奉仕の理想」

ビジター紹介 石川たか子会員
清水芸妓置屋共同組合 組合長 小鈴様
静岡伝統芸能振興会 アドバイザー 山本 勉様

出席報告 石川たか子会員

月 日	会員数	出席数	欠席数	メイクアップ	改正出席率
8/20	30 (29)	24名	5名	1名	86.21%
8/26	30 (30)	26名	4名	-	-
9/2	30 (30)	27名	3名	-	-

本日の例会案内 (第1155回例会)

9月9日(火)
青少年のための月間に因んで
津田 薫会員
※「役員・理事会」開催

次のプログラム

9月16日(火)
お月見例会
リトルワールド報告
青少年・親睦委員会

会長挨拶 鈴木 勉会長

- (1) 暑い夏を越え9月になりました。ここ数日で涼しくなり秋の訪れを感じます。今月の歌も「虫の声」とします。虫の音を雑音(ノイズ)と感ずるか、心地よい癒しの音と感ずるかは民族で違うようです。日本人は後者の代表です。日本人に生まれて良かったなあと感じます。この時期は、夏の疲れが出やすい時期です。体調を崩されないように十分に体を労わってくださいね。
- (2) 当クラブの新年度が始まって2ヶ月。会員一同又専門委員会の方々等のご理解・ご協力のお陰で、例会出席率も高く、例会内容も充実、運営も幹事の助けもあり、スムーズに進んでいることを心から感謝したいと思います。8月は会員増強・拡大月間でした。石垣委員長が意欲的に事に当たって頂き、IMも第1グループ8/4、第2・3グループが8/26に開催。多数の参加者を数え、アソシアの梨杏で美味しい中華料理を食べながら楽しく意義ある話し合いが出来たようです。会員増強の成果に繋がりますよう期待します。
- (3) RC活動も秋本番。9月は16日お月見家族夜間例会。21日アクト安倍川アドプト。10月は21日職場見学会。26日静岡西・北RC、梅が島合同植樹会。11月は15・16日浜松で地区大会が開催予定。各委員・委員会にご苦勞をおかけしますが、楽しむ気持ちを持って事に望んで戴きたいです。難しい点があれば、ひとりで悩まずに委員会・理事会等でコミュニケーションを充分取って、皆で力を合わせ、知恵を出し合って乗り切って行きましょう。異常気象が目立つ今年。幸いにも、静岡に大きな被害が出ていない様子。中・長期気象予想は現代最先端の科学でも難しいようですが、私の家の2階の屋根裏に今年3個の蜂の巣を見つけました。高い所に蜂が巣をつくると大きな台風が来ないと云いますが、今年、静岡は大丈夫でしょうか。



幹事報告 山崎 俊昌幹事

・ガバナー月誌9月号の誤植の件

委員会報告

青少年奉仕委員会 津田 薫会員
・9月6日土曜日 午後2時
島田ローターアクトの参加をお願いします。
・9月21日 安倍川アドプト 10時から
・ローターアクトのローテーションを配布しました。

スマイル 大橋 知文会員

- 山田喜久子会員
小鈴お姉さんにはお世話になっています。今日もまたわがままをお願いして申し訳ございません。宜しくお願い申し上げます。
- 神谷とき江会員
本日の卓話、とても楽しみです。
- 大橋 知文会員
8月6日、弊社創立51周年を迎えました。クラブから鉢植えを頂き、ありがとうございました。今年、2回目です。これからも宜しくお願い致します。
- 内田 英男会員
8月度はホームクラブを欠席しましてすみません。メイクアップはすべてしておきました。
- 石垣 徳夫会員
今年、最大の住まいの参観日が9月6~7日に全国一斉に開催されます。住宅やアパートに興味のある方は、ぜひこの機会にご見学して下さい。見学会の対象には入っていませんが、現在、森崎会員宅も建設中です。林会員の長女誕生にスマイル。美男・美女の間に生まれたお子さんは美美女になると思います。

ゲスト卓話

「日本の芸能を 学びませんか」

清水芸妓置屋共同組合 組合長 小鈴様



皆さん、こんにちは。本日は「静岡北RC」の例会にわたくしをお招きいただき、誠にありがとうございます。このような多くの皆様を前にして気も引き締まる思いでございますが、与えられたテーマの「芸者の歴史」について一生懸命務めさせていただきます。申し遅れましたが私は、「小鈴」と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、芸者の起源は遼(さかのぼ)ること1,000年前、平安時代末期から鎌倉時代にかけて活躍した白拍子(しらびょうし)からではないか、とも言われております。白装束に身を包んだ白拍子は格式も高く、主に宮中に入り舞を披露しておりました。皆さんもご存知の代表的な白拍子には、平清盛の愛妾「祇王」(ぎおう)や、源義経の愛妾「静御前」(しずかごぜん)、後鳥羽上皇の愛妾「亀菊」(かめぎく)などを上げることが出来ますが、いずれも宮中では大変な権力を握っておりました。

室町時代(1338~1573年)に入ると(北野天満宮の残材で作られた)「京都上七間」(日本最古のお茶屋)が造られ、ここでは巫女経験者の再就職の場として彼女たちが舞を披露する「場」となっていました。

やがて出雲大社の巫女の「阿国」(おくに)が全国勧進の途中で京都「四条川原」で舞を披露し大評判となりましたが、これを機に「阿国」を真似て、全国でも遊女たちが三味線を引きながら舞う姿が見られるようになりました。

さて、この地域では明治時代に入ってから「町芸者」あるいは「芸者」として文献に出てきますが、静岡と清水では若干歴史も異なっておりますので、これから先は両地域を分けて説明をし、終盤で、最近の動きなどもお話ししてみたいと思います。



開会点鐘 鈴木 勉会長

[担当:山田]